

令和7年度常陸太田市原子力防災広域避難訓練  
訓練参加者アンケート集計結果

## I アンケートの概要

令和7年度常陸太田市原子力災害広域避難訓練の訓練参加市民を対象にアンケート調査を実施しました。

広域避難訓練に参加する訓練参加市民については、仮想避難所である里美小中学校において配布し、その場で記入、回収しました。

情報伝達・屋内退避訓練のみに参加する訓練参加市民については、事前にアンケート用紙と返信用封筒を配付し、郵送で回収しました。

### 1 アンケート項目（広域避難訓練参加市民対象）

広域避難訓練に参加した市民を対象に、原子力防災についての理解度や本訓練における職員の対応の適否や避難を体験してみて感じたことなどについてご意見をいただくため、下記項目についてのアンケート調査へご協力いただきました。

- 1 原子力防災についてお伺いします。
  - (1) 原子力災害における避難の流れは事前に知っていましたか。
  - (2) あなたの地域の「一時集合所」や「避難先市町村」は事前に知っていましたか。
- 2 訓練で市からの情報を得ることができた手段についてお伺いします。市から広報した情報を得ることができた手段を回答ください。（複数回答）
- 3 アプリからの情報についてお伺いします。
  - (1) 市行政情報アプリ「じょうづるさんナビ」についてお伺いします。
    - ①「じょうづるさんナビ」を携帯電話（スマホ）に入れて 있습니까。
    - ②「じょうづるさんナビ」の情報はわかりやすかったですか。
  - (2) 「いばらき原子力防災アプリ」についてお伺いします。
    - ①「いばらき原子力防災アプリ」を携帯電話（スマホ）に入れて 있습니까。
    - ②「いばらき原子力防災アプリ」の情報はわかりやすかったですか。
- 4 自家用車で避難された方にお伺いします。
  - (1) 訓練されて、原子力災害時には実際に自家用車で避難できると思いますか。
  - (2) 自家用車避難で不安に思うことはありますか。（複数回答）
- 5 バスで避難された方にお伺いします。
  - (1) 一時集合所での受付はどちらの方法で行いましたか。
  - (2) 一時集合所の受付手順はわかりやすかったですか。
  - (3) 一時集合所において、市職員の案内・誘導はわかりやすかったですか。
- 6 安定ヨウ素剤の説明・服用についてお伺いします。
  - (1) 市職員の安定ヨウ素剤の説明はわかりやすかったですか。
  - (2) 安定ヨウ素剤の服用について心配なこと、確認したいことはありますか。
- 7 避難中継所・避難所についてお伺いします。
  - (1) 避難中継所・避難所での受付はどちらで行いましたか。
  - (2) 避難中継所・避難所での受付手順はわかりやすかったですか。
  - (3) 避難中継所・避難所において、市職員の案内・誘導はわかりやすかったですか。
- 8 避難指示が出た場合の行動についてお伺いします。
  - (1) 実際に原子力災害が起きたとき、どのように避難しようと考えていますか。

- (2) 自然災害を含め、災害に備えて何日分の食料・飲料等を備蓄していますか。
  - (3) 今回の訓練から、実際の原子力災害時に迅速に避難できると思いますか。
  - (4) 前の質問で「できると思わない」「あまりできると思わない」と回答された方に伺います。迅速に避難できないと思う理由を教えてください。
- 9 自主防災会による避難所運営訓練についてお伺いします。
- (1) 自主防災会による避難所運営訓練を通じてどのような成果があったと考えますか。
  - (2) 避難所の資機材についてどのように感じましたか。
  - (3) 避難所生活において知りたい情報や必要な物品はありますか。(複数回答)
- 10 その他、今回の訓練や原子力防災などについて自由な意見をお聞かせください。

## 2 アンケート項目（情報伝達訓練参加市民対象）

機初地区、佐都地区、河内地区の市民を対象に、市が訓練で活用した情報伝達手段のうち、どの手段が効果的に伝達されているかを確認するため、下記項目についてのアンケート調査へご協力いただきました。

- 1 情報伝達訓練で使ったいくつかの手段のうち、あなたが災害情報を得た手段のすべてを次のうちから選んでください。(複数回答)
- 2 問1で選んだ手段のうち、一番わかりやすかったものはどれですか。
- 3 問1の手段のうち、わかりづらかったものはどれですか。

## 3 アンケート回収数・回収率

アンケートの回収数及び回収率は下記の通りです。

### (1) 広域避難訓練参加市民対象

対象地区	訓練参加市民数	回収数	回収率
機初地区	47名	93名分	68.4%
佐都地区	49名		
河内地区	40名		
計	136名	93名分	68.4%

広域避難訓練参加市民を対象とするアンケートは、仮想避難所である里美小中学校において配布し、回収しました。回収率が悪かった理由としては、帰路のバス乗車案内とともに回収したため、提出機会が雑然となってしまったことによるものであり、より積極的な声かけに努める必要があったものと考えます。

帰路のバス車内での回収を行うなど、回収率を高める取り組みを提案します。

### (2) 情報伝達訓練参加市民対象

対象地区	アンケート配布数	回収数	回収率
機初地区、佐都地区、河内地区	3,000枚	63枚	2.1%

情報伝達訓練参加市民を対象とするアンケートは、返信用封筒とともに各世帯にアンケート用紙を配付し、郵送で回収しました。回収数が少なかった理由としては、訓練参加市民が協力するメリットを感じられなかったこと、自分に係わりが無いものとして処置してしまったことなどが考えられます。

アンケート紙面にアンケートの意義を明示するほか、回答者にインセンティブを与えるなど、回収数を高める取り組みを提案します。

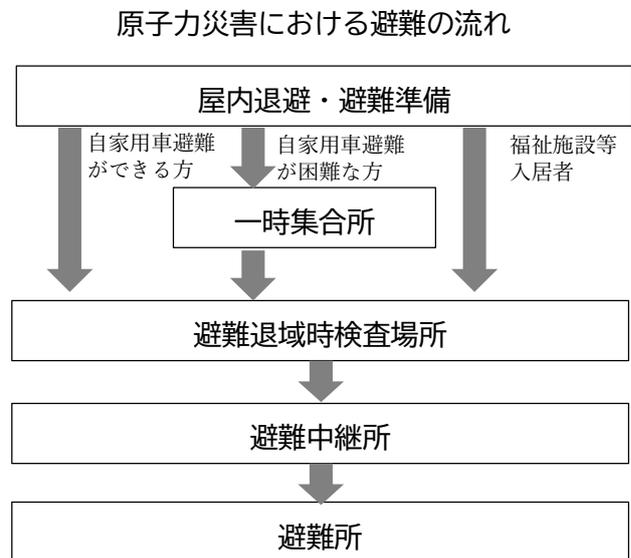
## Ⅱ アンケート結果（広域避難訓練参加市民対象）

集計結果のパーセンテージは有効回答数に基づき算出しています。

### 1 原子力防災について

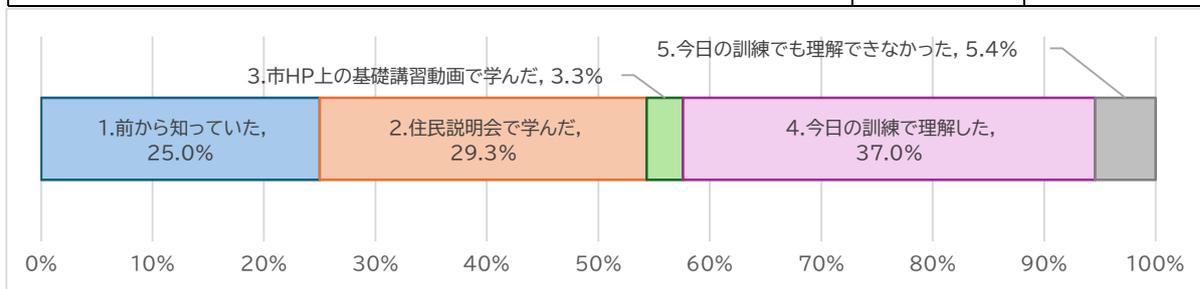
#### （1）原子力災害における避難の流れは事前に知っていましたか。

「今回の訓練で理解した」と回答した方が最も多く挙げられました。「広域避難訓練参加者説明会で学んだ」「市HP上の基礎講習動画で学んだ」「今回の訓練で理解した」が合わせて69.6%（64/92名）と多く、訓練準備及び訓練を通じて、市民に対し基礎的知識を習得する機会を提供できたものと考えます。また、「前から知っていた」と回答した方の割合は例年と比較し、徐々に上昇していることから、原子力災害対策についての啓発が進められているものと推察します。《参考：過去3年間の常陸太田市原子力災害広域避難訓練アンケートにおける同設問へ「前から知っていた」と回答した方の割合：令和4年度15.2%、令和5年度17.6%、令和6年度20.3%》



○回 答 (n=92)

項 目	回答数	回答率
1. 前から知っていた	23名	25.0%
2. 広域避難訓練参加者説明会で学んだ	27名	29.3%
3. 市HP上の基礎講習動画で学んだ	3名	3.3%
4. 今日の訓練で理解した	34名	37.0%
5. 今日の訓練でも理解できなかった	5名	5.4%



(2) あなたの地域の「一時集合所」や「避難先市町村」は事前には知っていましたか。

「前から知っていた」と回答した方が 34.1%と最も多く挙げられました。

また、「広域避難訓練参加者説明会で学んだ」「市HP上の基礎講習動画で学んだ」「今回の訓練で理解した」が合わせて 60.2% (57/88名) と多く、訓練準備及び訓練を通じて、市民に対し、常陸太田市原子力災害広域避難計画に基づく広域避難に関する基礎的知識を習得する機会を提供できたものと考えます。

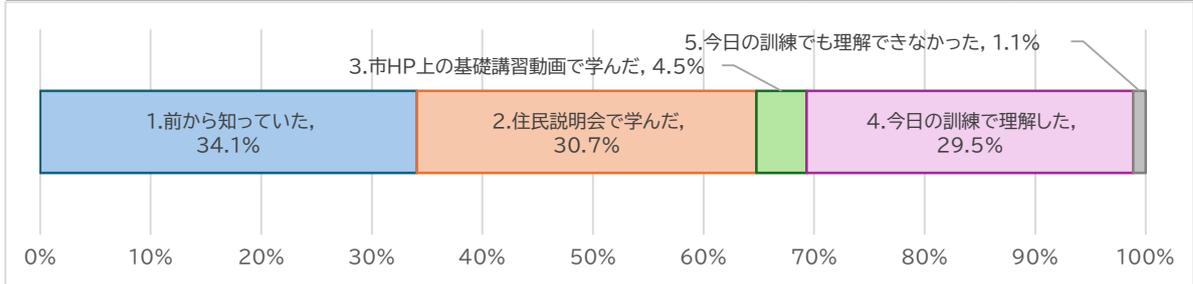
本訓練対象地域の一時集合所と避難先市町

地区	一時集合所	避難先市町
機初地区	機初小学校	白河市
佐都地区	佐都公民館	浅川町、棚倉町
河内地区	河内公民館	棚倉町

《参考：過去3年間の常陸太田市原子力災害広域避難訓練アンケートにおける同設問へ「前から知っていた」と回答した方の割合：令和4年度 37.1%、令和5年度 25.9%、令和6年度 35.0%》

○回答 (n=88)

項目	回答数	回答率
1. 前から知っていた	30名	34.1%
2. 広域避難訓練参加者説明会で学んだ	27名	30.7%
3. 市HP上の基礎講習動画で学んだ	4名	4.5%
4. 今日の訓練で理解した	26名	29.5%
5. 今日の訓練でも理解できなかった	1名	1.1%



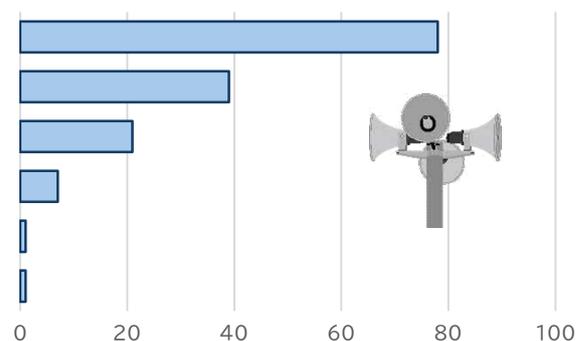
2 訓練で市からの情報を得ることができた手段について

市から広報した情報を得ることができた手段を回答ください。(複数回答)

「防災行政無線」と回答した方が最も多く、次いで「じょうづるさんナビ」や「いばらき原子力アプリ」といった手段で情報を得ている方が多く確認できました。

○回答 (n=147)

項目	回答数
1. 防災行政無線	78名
2. じょうづるさんナビ	39名
3. いばらき原子力防災アプリ	21名
4. 広報車	7名
5. 市ホームページ	1名
6. 市SNS	1名



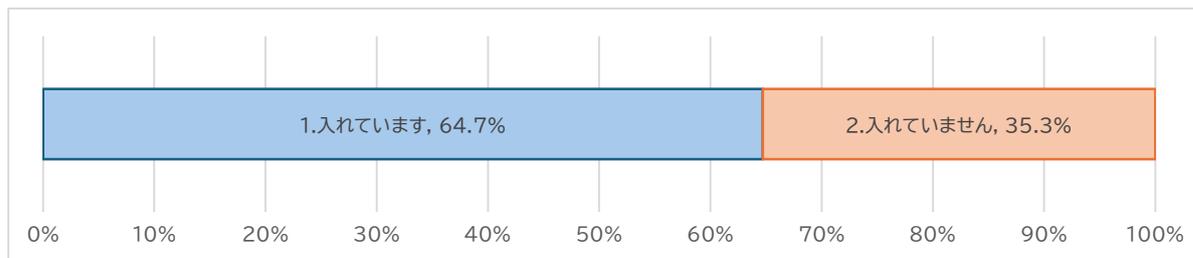
### 3 アプリからの情報について

#### (1) 市行政情報アプリ「じょうづるさんナビ」について

①「じょうづるさんナビ」を携帯電話（スマホ）に入れていますか。

○回 答 (n=85)

項 目	回答数	回答率
1.入れています	55名	64.7%
2.入れていません	30名	35.3%

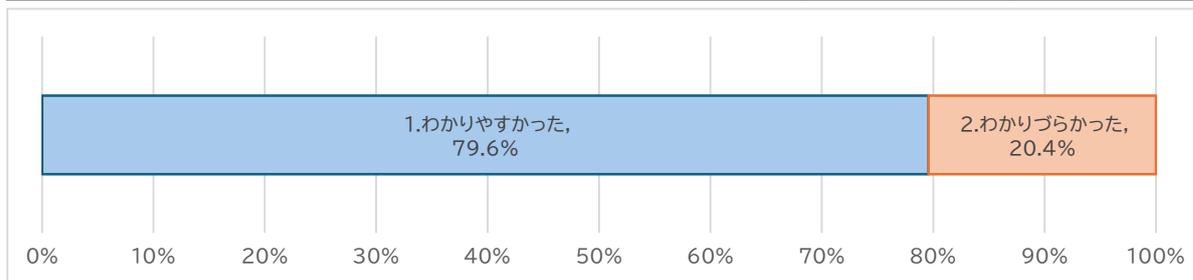


②「じょうづるさんナビ」の情報はわかりやすかったですか。

79.6% (39/49名)の方が「わかりやすかった」と回答しており、「じょうづるさんナビ」の情報はおおむね適切に伝わっています。「じょうづるさんナビ」は、情報入手手段の一つとして有効であったものと考えます。一方で、通知に気づかない、使い方がわからないといった意見が挙げられており、引き続き、「じょうづるさんナビ」の周知が必要と考えます。

○回 答 (n=49)

項 目	回答数	回答率
1.わかりやすかった	39名	79.6%
2.わかりづらかった	10名	20.4%



#### 《自由意見》

ア 登録方法がわからず、通知が届かなかった。

- ・「じょうづるさんナビ」を入れているが、登録方法がわからず、通知が届かなかった。
- ・避難指示等の通知が届かなかった。
- ・「じょうづるさんナビ」からの情報をうまく取れなかった。
- ・「じょうづるさんナビ」の使い方がわからない。

イ 通知に気づかなかった。

- ・「じょうづるさんナビ」から音声等が流れるのかと思った。

- ・「じょうづるさんナビ」からの通知の合図がわからない。

#### ウ その他

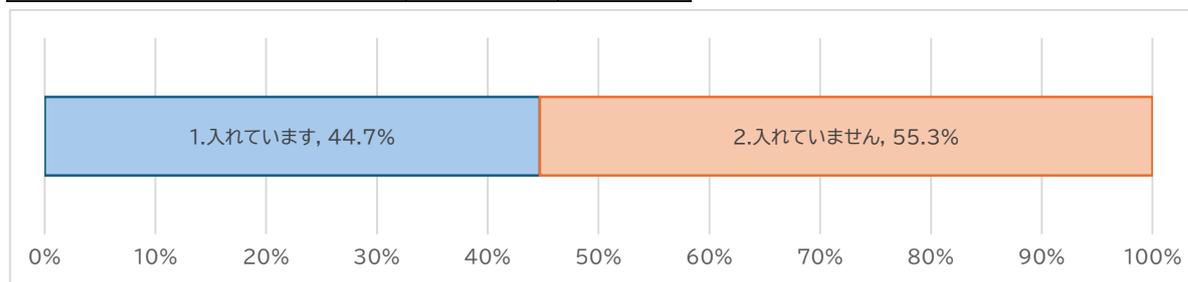
- ・防災行政無線で情報を得たので、「じょうづるさんナビ」を確認しなかった。
- ・通知内容は短く要点だけにしてほしい。

### (2) 「いばらき原子力防災アプリ」について

#### ① 「いばらき原子力防災アプリ」を携帯電話（スマホ）に入れていますか。

○回 答 (n=85)

項 目	回答数	回答率
1.入れています	38名	44.7%
2.入れていません	47名	55.3%

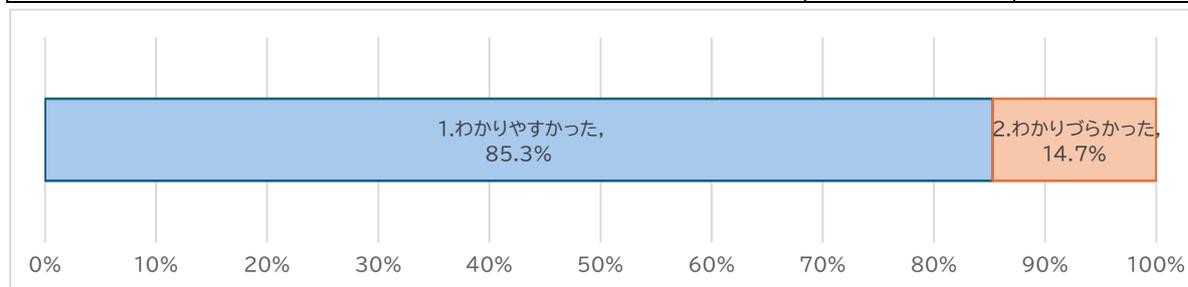


#### ② 「いばらき原子力防災アプリ」の情報はわかりやすかったですか。

85.3% (29/34名)の方が「わかりやすかった」と回答しており、「いばらき原子力防災アプリ」の情報はおおむね適切に伝わっています。「いばらき原子力防災アプリ」は、情報入手手段の一つとして有効であったものと考えます。一方で、通知に気づかない、使い方がわからないといった意見が挙げられており、引き続き、「いばらき原子力防災アプリ」の周知が必要と考えます。

○回 答 (n=34)

項 目	回答数	回答率
1.わかりやすかった	29名	85.3%
2.わかりづらかった	5名	14.7%



#### 《自由意見》

- ・「じょうづるさんナビ」のお知らせは気が付いたが、「いばらき原子力防災アプリ」はお知らせが無かった。(同様の意見が10件)
- ・「いばらき原子力防災アプリ」の使い方がわからない。

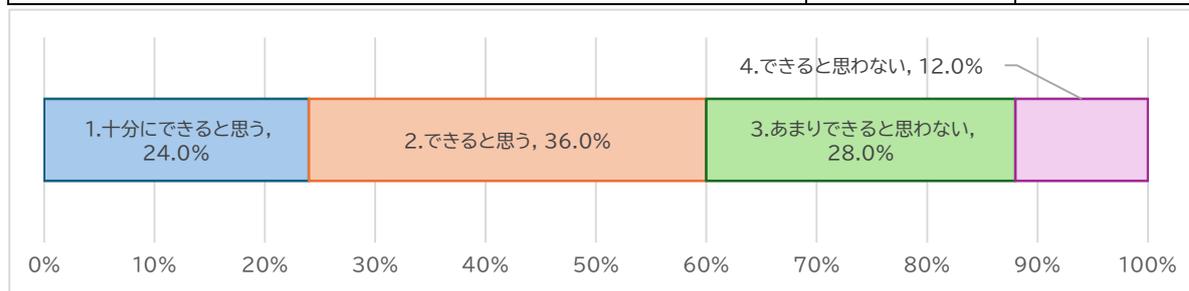
#### 4 自家用車で避難された方へ

##### (1) 訓練されて、原子力災害時には実際に自家用車で避難できると思いますか。

「十分にできると思う」「できると思う」が60.0% (30/50名)であった。できると思わない理由について、自由意見では道路の渋滞を心配する意見が多く挙げられています。

○回 答 (n=50)

項 目	回答数	回答率
1.十分にできると思う	12名	24.0%
2.できると思う	18名	36.0%
3.あまりできると思わない	14名	28.0%
4.できると思わない	6名	12.0%



##### 《自由意見》

- ・実際には、ほとんどが自家用車で避難になり、道路が渋滞すると思うため、できないと思う。(同様の意見が10件)



##### (2) 自家用車避難で不安に思うことはありますか。(複数回答)

「燃料の確保が不安」との意見が最も多く挙げられました。自家用車避難における燃料確保の方策や渋滞対策について、十分に説明することで市民の不安が解消されるものと考えます。

○回 答 (n=79)

項 目	回答数
1.避難する経路がわからない	13名
2.長距離の運転が不安	12名
3.積雪・凍結時の備えがない	10名
4.燃料の確保が不安	27名
5.移動時の交通情報をどのように入手したらいいのかわからない	16名
6.その他	1名

## 5 バスで避難された方へ

(1) 一時集合所での受付はどちらの方法で行いましたか。

○回 答 (n=56)

項 目	回答数	回答率
1. 受付票への記入	46 名	82%
2. IC カード	10 名	18%

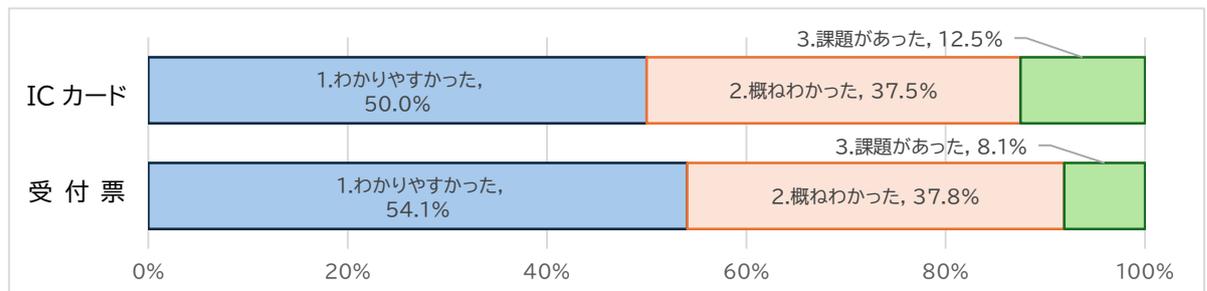


(2) 一時集合所の受付手順はわかりやすかったですか。

「わかりやすかった」「概ねわかった」と回答された方は受付票での受付で 91.9% (34/37 名)、IC カードでの受付で 87.5% (7/8 名) と高く、昨年度と比較して大きく改善されており、円滑に受付が行われたものと考えます。《参考：令和 6 年度常陸太田市原子力災害広域避難訓練アンケートにおける同設問へ「わかりやすかった」「概ねわかった」と回答した方の割合：受付票 62.5%、IC カード 72.7%》

○回 答 (受付票) (n=45)

項 目	受付票	IC カード
1. わかりやすかった	20 名	4 名
2. 概ねわかった	14 名	3 名
3. 課題があった	3 名	1 名
4. わからなかった	0 名	0 名



(3) 一時集合所において、市職員の案内・誘導はわかりやすかったですか。

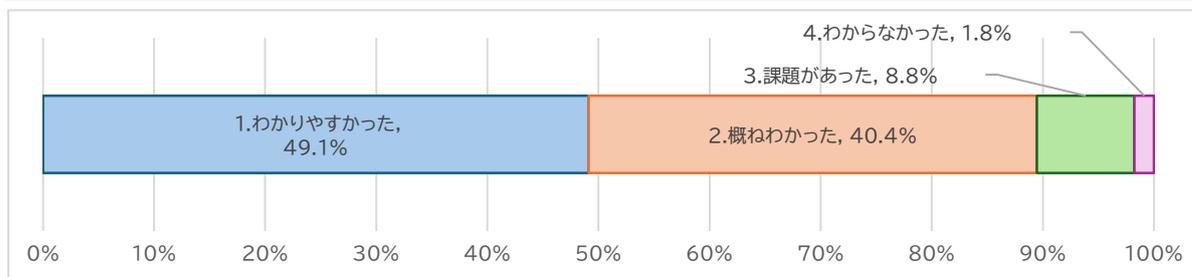
「わかりやすかった」「概ねわかりやすかった」と回答された方は 89.5% (51/57 名) と高く、昨年度と比較して改善されており、円滑に受付が行われたものと考えます。

《参考：過去 3 年間の常陸太田市原子力災害広域避難訓練アンケートにおける同設問へ「わかりやすかった」「概ねわかった」と回答した方の割合：令和 4 年度 82.1%、令和 5 年度 83.6%、令和 6 年度 72.4%》



○回 答（受付票）（n=57）

項 目	回答数	回答率
1.わかりやすかった	28名	49.1%
2.概ねわかった	23名	40.4%
3.課題があった	5名	8.8%
4.わからなかった	1名	1.8%



《自由意見》

- ・自家用車を駐車後の案内が無かった。
- ・指示する人が複数で誰の指示に従えばいいのかわからない。

(4)一時集合所で市職員に要望したいこと、避難先の市や町に要望しておきたいことはありますか。

《自由意見》

- ・一時集合所に配備された市職員の声が聞き取りづらい。
- ・看板の表示をわかりやすくしてほしい。
- ・ペットと一緒に避難したい。(同様の意見が1件)
- ・持病の薬を手配してほしい。

6 安定ヨウ素剤の説明・服用について

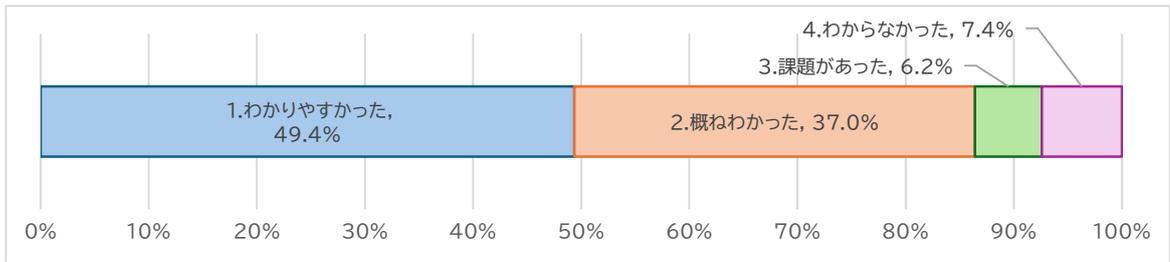
(1)市職員の安定ヨウ素剤の説明はわかりやすかったですか。

全体の86.4% (70/81名)が「わかりやすかった」「概ねわかりやすかった」と回答しており、多くの方に安定ヨウ素剤の服用について理解していただくことができました。昨年度と比較して改善されており、より分かりやすく説明することができたものと考えます。《参考：過去3年間の常陸太田市原子力災害広域避難訓練アンケートにおける同設問へ「わかりやすかった」「概ねわかった」と回答した方の割合：令和5年度71.3%、令和6年度80.7%》



○回 答 (n=81)

項 目	回答数	回答率
1.わかりやすかった	40名	49.4%
2.概ねわかった	30名	37.0%
3.課題があった	5名	6.2%
4.わからなかった	6名	7.4%



《自由意見》

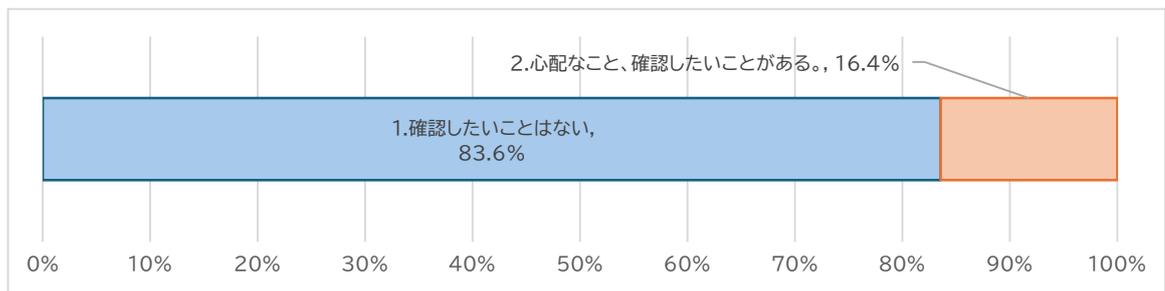
- ・紙をもらったが、具体的に説明が欲しかった。(自家用車避難者)
- ・何の説明もない。渡されただけであった。(バス避難者)

(2) 安定ヨウ素剤の服用について心配なこと、確認したいことはありますか。

全体の83.6% (61/73名) が心配なこと、確認したいことはないと回答しています。自由意見では安定ヨウ素剤について副作用など体への影響が不安といった意見が挙げられました。

○回 答 (n=73)

項 目	回答数	回答率
1.確認したいことはない	61名	83.6%
2.心配なこと、確認したいことがある	12名	16.4%



《自由意見》

- ・薬を飲んでいるため副作用が心配である。
- ・安定ヨウ素剤の体への影響の有無が心配である。(同様の意見が1件)
- ・安定ヨウ素剤についての詳しい知識がないので、これから学びたい。

7 避難中継所・避難所について

(1) 避難中継所・避難所での受付はどちらで行いましたか。

○回 答 (n=77)

項 目	回答数	回答率
1.受付票への記入	64名	83%
2.ICカード	13名	17%



(2) 避難中継所・避難所での受付手順はわかりやすかったですか。

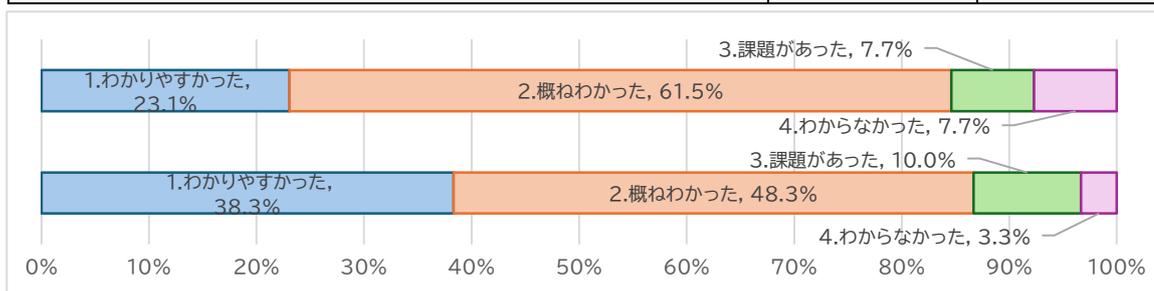
「わかりやすかった」「概ねわかった」と回答したのは、受付票による受付で86.7% (52/60名)、ICカードによる受付で84.6% (11/13名) であり、昨年度と比較して5.3~7.4ポイント減

ったものの、80%を超えており、受付手順はわかりやすく円滑に行われたものと考えます。

《参考：令和6年度常陸太田市原子力災害広域避難訓練アンケートにおける同設問へ「わかりやすかった」「概ねわかった」と回答した方の割合：92.0%》

○回答 (n=73)

項目	受付票	ICカード
1.わかりやすかった	23名	3名
2.概ねわかった	29名	8名
3.課題があった	6名	1名
4.わからなかった	2名	1名



《自由意見》

・誘導が適切でなく、ごたごた感がある。(受付票)

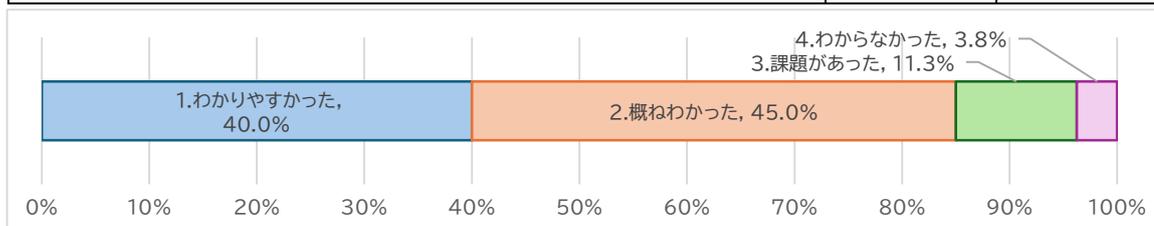
(3)避難中継所・避難所において、市職員の案内・誘導はわかりやすかったですか。

全体の85.0% (68/80名)が「わかりやすかった」「概ねわかった」と回答しており、避難中継所及び避難所での案内・誘導は分かりやすいものになっていたものと考えます。



○回答 (n=80)

項目	回答数	回答率
1.わかりやすかった	32名	40.0%
2.概ねわかった	36名	45.0%
3.課題があった	9名	11.3%
4.わからなかった	3名	3.8%



《自由意見》

・誘導のための看板があると理解しやすい。

## 8 避難指示が出た場合の行動について

### (1) 実際に原子力災害が起きたとき、どのように避難しようと考えていますか。

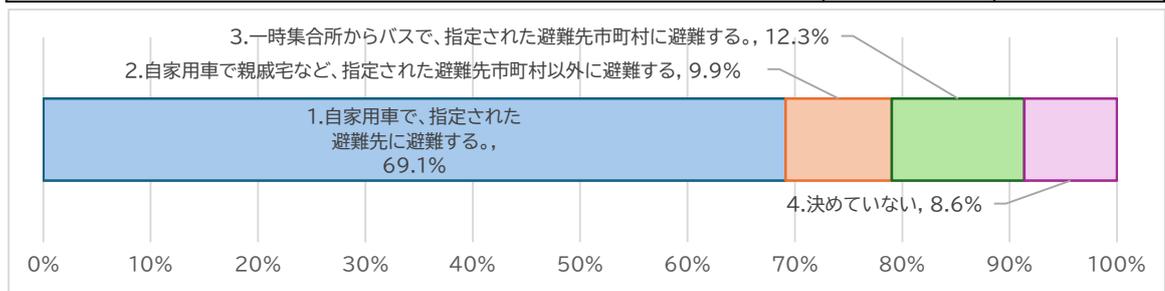
全体の69.1% (56/81名) が自家用車で指定された避難先に避難すると回答し、一時集合所からバスで、指定された避難先に避難すると回答した方は全体の12.3% (10/81名) でした。

《参考：過去2年間の常陸太田市原子力防災広域避難訓練アンケートで「一時集合所からバスで、指定された避難先に避難する」と回答した方の割合：令和5年度10.5%、令和6年度8.9%》



#### ○回答 (n=81)

項目	回答数	回答率
1.自家用車で、指定された避難先に避難する	56名	69.1%
2.自家用車で親戚宅など、指定された避難先以外に避難する	8名	9.9%
3.一時集合所からバスで、指定された避難先に避難する	10名	12.3%
4.決めていない	7名	8.6%

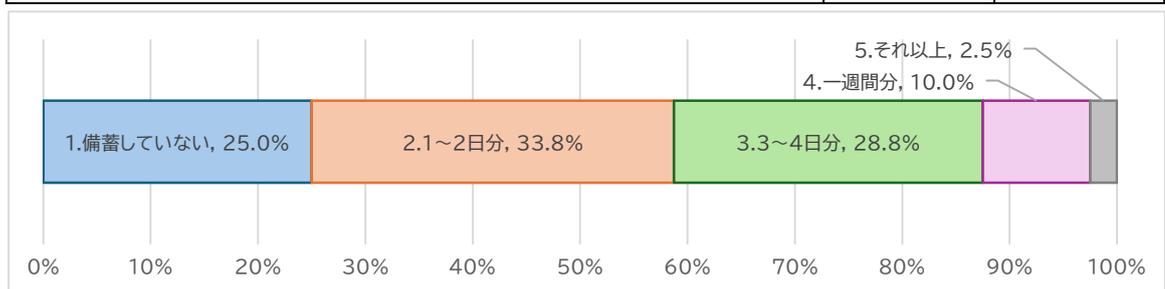


### (2) 自然災害を含め、災害に備えて何日分の食料・飲料等を備蓄していますか。

屋内退避解除判断の日安である3日間以上の備蓄をしている方が、41.3% (33/80名) と最も多い結果となりました。引き続き、原子力防災をはじめとする災害に備えて平素から備蓄を行うよう啓発が必要と考えます。

#### ○回答 (n=80)

項目	回答数	回答率
1.備蓄していない	20名	25.0%
2.1~2日分	27名	33.8%
3.3~4日分	23名	28.8%
4.一週間分	8名	10.0%
5.それ以上	2名	2.5%

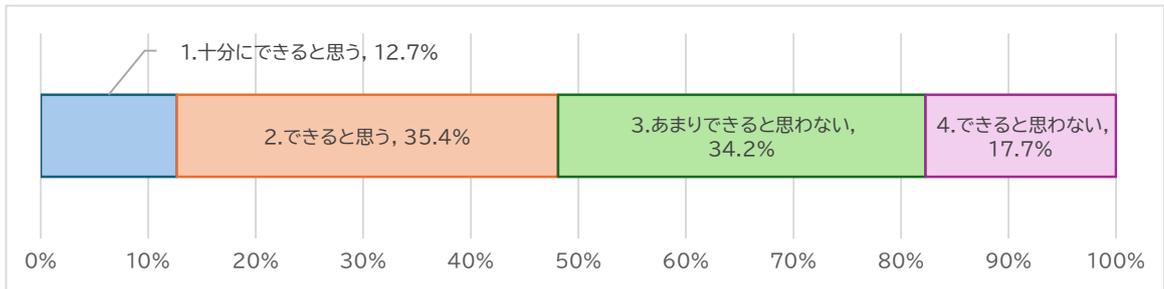


(3) 今回の訓練から、実際の原子力災害時に迅速に避難できると思いますか。

「十分にできると思う」「できると思う」が48.1% (38/79名) と過半数を下回る結果となりました。

○回 答 (n=79)

項 目	回答数	回答率
1.十分にできると思う	10名	12.7%
2.できると思う	28名	35.4%
3.あまりできると思わない	27名	34.2%
4.できると思わない	14名	17.7%

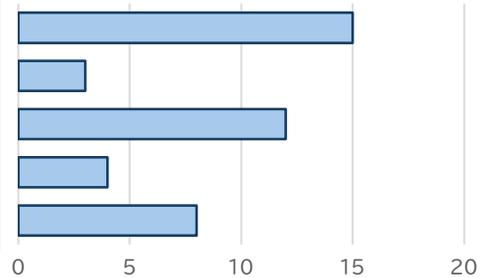


(4) 前の質問で「できると思わない」「あまりできると思わない」と回答された方に伺います。迅速に避難できないと思う理由を教えてください。

できると思わない理由として、「避難指示がわかりにくい」「普段から準備していない」との意見が多く挙げられたほか、自由意見では道路の渋滞を危惧する意見も挙げられました。

○回 答 (n=42)

項 目	回答数
1.避難指示などが分かりにくかったため	15名
2.一時集合所や避難先市町村がわからなかったため	3名
3.普段から屋内退避・避難の準備をしていないため	12名
4.訓練・経験不足で自信がないため	4名
5.その他	8名



《自由記述》

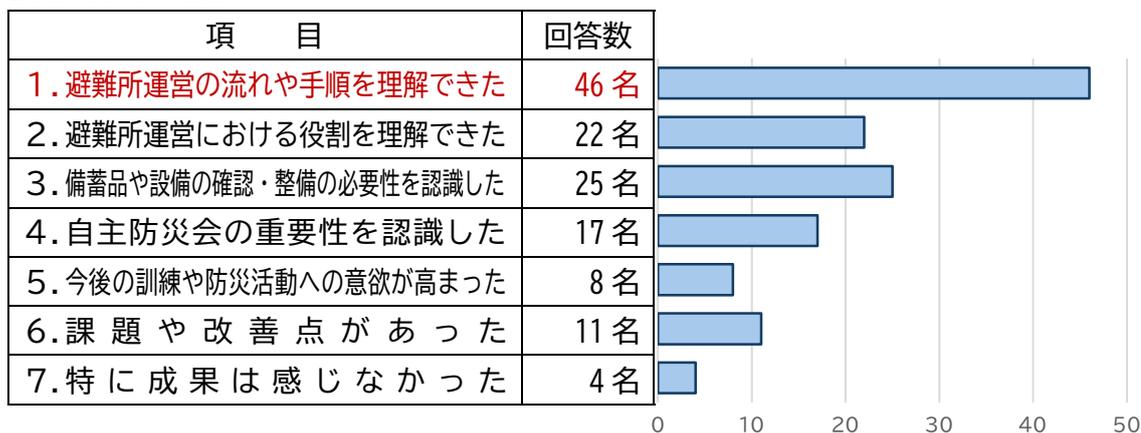
- ・一時集合所や避難先で駐車場スペースが足りなくなると思う。
- ・車が渋滞して動かなくなると思う。(同様の意見が1件)
- ・道路が通行できる状況であるかわからない。
- ・避難退域時検査などで時間がかかりすぎた。

## 9 自主防災会による避難所運営訓練について

### (1) 自主防災会による避難所運営訓練を通じてどのような成果があったと考えますか。

「避難所運営の流れや手順を理解できた」という回答が最も多く、次いで「備蓄品や設備の確認・整備の必要性を認識した」「避難所運営における役割を理解できた」とする回答が挙げられました。自主防災会による主体的な避難所運営について訓練参加した市民の理解促進につながったものと考えます。

○回答 (n=133)



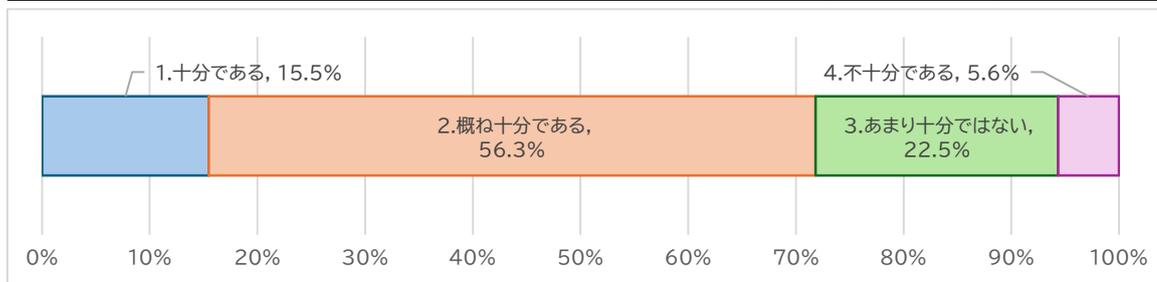
### (2) 避難所の資機材についてどのように感じましたか。

「十分である」「概ね十分である」とする回答が 71.8% (51/71名) でした。多くの方が避難所の資機材について十分であると感じる一方、不十分と感じる方もいることから、引き続き、訓練等で検証を行い、資機材の整備を進める必要があります。



○回答 (n=71)

項目	回答数	回答率
1. 十分である	11名	15.5%
2. 概ね十分である	40名	56.3%
3. あまり十分ではない	16名	22.5%
4. 不十分である	4名	5.6%



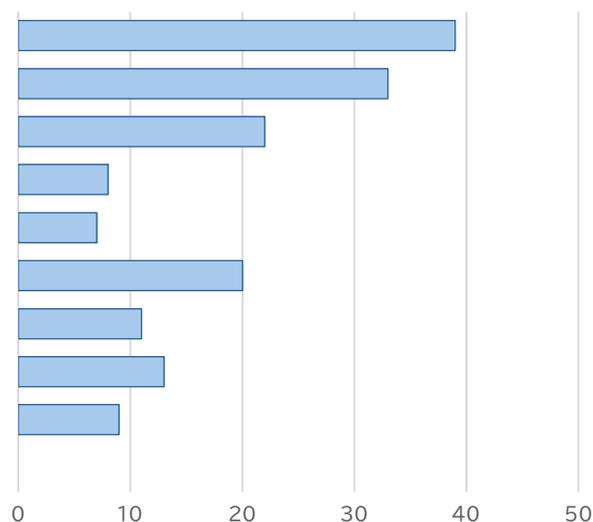
### (3) 避難所生活において知りたい情報や必要な物品はありますか。(複数回答)

「事故の情報」とする回答が最も多く、次いで「家族親類の安否」「市内の被害状況」とする回答が多く挙げられました。災害時には市から、事故の状況や市内の被害状況及び市民の安否について積極的に広報する必要があるものと考えます。

また、必要な物品としては、「医薬品」とする回答が最も多く、避難所生活において避難者が必要とする医薬品が提供できるよう検討しておく必要があります。

○回 答 (n=162)

項 目	回答数
1. 事故の情報	39名
2. 家族親類の安否	33名
3. 市内の被害状況	22名
4. 市役所の相談窓口	8名
5. 近隣の病院	7名
6. 医薬品	20名
7. 衛生用品	11名
8. 簡易テント	13名
9. 食事（アレルギーなど）	9名
10. その他	0名



#### 10 その他、今回の訓練や原子力防災などについて自由な意見をお聞かせください。

- ・ 訓練に参加でき、有意義だった。
- ・ もっと訓練の機会を作ってほしい。
- ・ 移動時に待たされている時間にどのような状況で待っている等の説明が欲しいと思う。
- ・ バスの手配等スムーズにできるか心配である。
- ・ 避難時に一時集合所などで待つ時間をなくし、スムーズな流れになるような運営方法を考えてほしい。

## Ⅱ アンケート結果（情報伝達訓練参加者対象）

集計結果のパーセンテージは有効回答数に基づき算出しています。

### 1 情報伝達訓練で使用したいいくつかの手段のうち、あなたが災害情報を得た手段のすべてを次のうちから選んでください。（複数回答）

「防災行政無線」と回答した方が最も多く、次いで「じょうづるさんナビ」「広報車」と回答した方が多く挙げられました。

○回 答（n=113）

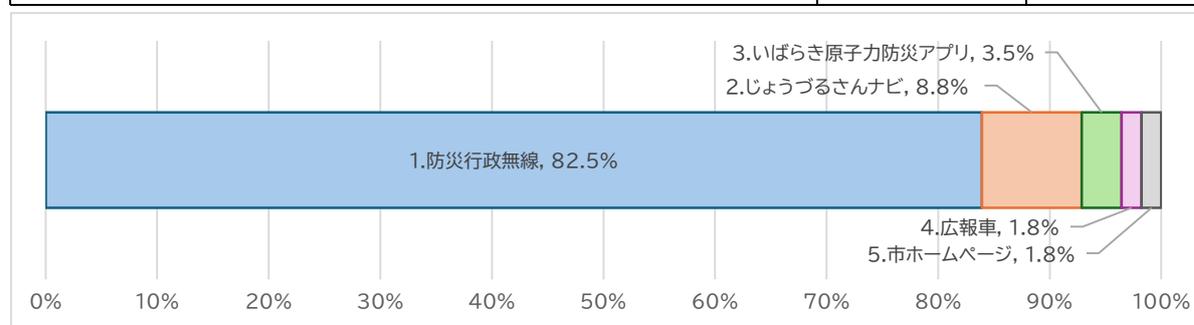


### 2 問1で選んだ手段のうち、一番わかりやすかったものはどれですか。

「防災行政無線」と回答した方が82.5%（47/56名）と最も多く挙げられました。「防災行政無線」による広報が効果的であったと考えます。

○回 答（n=56）

項 目	回答数	回答率
1. 防災行政無線	47名	82.5%
2. じょうづるさんナビ	5名	8.8%
3. いばらき原子力防災アプリ	2名	3.5%
4. 広報車	1名	1.8%
5. 市ホームページ	1名	1.8%
6. 市 SNS	0名	0.0%



### 3 問1の手段のうち、わかりづらかったものはどれですか。

選択肢のすべてに回答があり、市民が持っている情報入手手段や住環境などにより異なるものと考えます。引き続き、市から様々な手段を活用して広報し、市民が複数の手段で情報収集できるよう発信していくことが重要であると考えます。

○回答 (n=44)

項目	回答数	回答率
1. 防災行政無線	11名	21.6%
2. じょうづるさんナビ	5名	9.8%
3. いばらき原子力防災アプリ	7名	13.7%
4. 広報車	8名	15.7%
5. 市ホームページ	4名	7.8%
6. 市SNS	9名	17.6%

